

ご協力ありがとうございます！

【4月の新入会】(敬称略)

九州住宅工業(株)、特定非営利活動法人いふステージ、吉笑屋
古川弘信、望月美智子、(株)福岡技能講習センター、坂梨俊作
(株)武田リテール

【4月の寄付品】(敬称略)

永野貴子、四国センター、中武喜久代、ふくや、ひよどり精肉店
堤慎一郎、吉岡澄男、馬場雄二、布巻和昭、北原巖男
半田美和、サタケ(株)

体験農園だより

令和4年度春夏作前期がスタートして、一か月が過ぎました。4月前半は植付シーズンでほぼ毎週作業日となってしまいましたが、約30組近くの参加者が毎週作業に来られ、ほとんどの野菜が植え終わりました。これからの管理作業では「芽かき」が一番の難所。慣れてしまえばなんてことはないのですが、芽と葉の見分けが難しいようです。しっかりと伝わるように努めたいと思います。また4月にはタケノコ掘りを行いました。2週に渡り、開催しましたが、大盛況で多くの方がセンターにお越しになりました。今年のセンターのタケノコは裏作のようで、昨年に比べると少ないですが、たくさんの参加者がいらしたからか、どこもタケノコも頑張って芽を出していたように感じます。旬のタケノコを見つけて、自分たちで掘って、調理して食べる。良い思い出になったのではないかと思います。(飯川)

第8回西区生松台ふれあい市 & あおやぎマルシェ

4月16日(土)「西区生松台のふれあい市」及び4月26日(日)には初出店の「あおやぎ西会館マルシェ」で農産物の販売会をしました。行動制限も緩和されてきている中オイスカの農産物を多くの方に知っていただく機会をいただき販売会をさせていただきます。今回は旬のタケノコをはじめ、いんげん、イチゴ、オイスカ米、高菜炒めなどの農産物を販売しました。開店と同時にブース前にはたくさんの方に足を止めていただき、楽しみにされているお客さんも多く、オイスカの新鮮な農産物をお買い求めいただきました。また5月22日にはひばるマルシェ(南区松原・松原運動公園横)にも出店します。これからも色んなところで販売会行ってまいりますので皆様ご来場くださいませ。(満川)



生松台ふれあい市



あおやぎマルシェ



あおやぎマルシェ

5月の予定

- 7日 PNGのOB、ミャンマー研修生入所
- 10日 UAゼンセン研修
- 10日 室町ケミカル社員研修(13日まで)
- 14日 体験農園茶摘み
- 16日 インドネシア技能実習生7名入所
- 21日 海外研修生入所式、生松台バザー
- 22日 あおやぎ西会館、ひばるマルシェ
- 22日 ストレッチ大会(脇山自治協議会)
- 23日 インドネシア技能実習生7名入所
- 28日 九電田植え大会
- 29日 本と羊マルシェ

鬼木大明神 今月の一句

物事がうまく運んでいるとき、人はすべて自分の力によるものだど勘違いすることが時折ある。幸運を当たり前と思ふな！当初の初心を忘れるな！たまたまの成功に慢心するな！自分を取り巻く人や物や環境すべてに感謝する気持ちもなくすと運命は逆回転を始めるものだ！人は周囲から愛されて生きていくためにも「おかげさま」の気持ちを持ち続けなければならぬのだ！誰とでもいってどこでも「おかげさま」の気持ちを持つ人は必ず幸せになれるはずだ！

喝

まるごと!西日本



Instagram facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

2022年5月号

2年ぶりの新研修生来日

コロナ禍により2年ぶりの研修生の来日となりました。3月より新規外国人の方の入国が緩和され各方面での来日が可能となりましたが、彼ら研修生だけでなくこれまで一年以上来日を待っていた人たちが40万人近くになり入国に向けての手続きも煩雑なものとなり、併せて日を追うごとに航空便の手配も難しかったのですが、何とか4月中に東ティモール(8日)、フィジー(12日)、インドネシア(21日)、モンゴル、ウズベキスタン(23日)の5名を迎えることができました。3回のワクチン接種を終えたフィジー研修生以外は、それぞれ入国後の隔離をセンター内で対応しました。しかし残念ながらマレーシアからの1名は、出国前のPCR検査で陽性反応が出たために来日が一か月ほど延期となりました。また、5月7日にミャンマーとPNG(指導員研修:リー)が入国しますが、PNGの研修生だけがコロナ禍も影響してか、パスポートの取得に手間取り来日にあたり調整が出来ていません。21日の入所式には、なんとか全員が揃った形で皆様にご挨拶をしたいと思っております。ぜひ新研修生に会いに来てください。(彦坂)



第22回公益財団法人オイスカ西日本支部運営委員会開催

4月27日、運営委員会がオンラインにて開催されました。当日は、運営委員長の辻真一様(九州電力 地域共生本部 部長)の指揮により、令和3年度事業報告及び決算報告、また、令和4年度の事業計画(案)及び予算(案)を審議頂きました。新型コロナウイルス発生から2年以上経ち、オイスカ西日本研修センター及び支部の活動が制約されるなか、各種報告をさせていただきました。今年度は無事に新研修生の入国が決まり、本格的な研修が再開できます。運営委員の皆様(9名)にも今後の活動に対し、ご賛同頂きました。本委員会にて審議頂いた内容をもとに、次回の西日本支部幹事会を開催させていただきます。運営委員の皆様、ありがとうございました。

稲作苗床準備

いよいよこれから田植えのシーズンに入ります。西日本研修センターでは現在12ヘクタールの圃場(田んぼ)に福岡の奨励米、夢つくし、元気つくし、ひのひかり、もち米を栽培しています。稲作栽培では最初の作業になる播種を研修生はじめボランティア、スタッフと一緒に苗箱に種まきをしました。みなさん慣れない作業で大変のようでしたが、現場で説明をしながら流れ作業を段取りよく行っていただきました。種まきをした苗箱は研修センターのグラウンドに並べ、カラスなどの鳥獣害を防ぐためのネットを張ったり定期的な灌水作業をしながらこれから管理を行っていきます。来月5月6日からは田植がスタートします。美味しいお米が育つことを皆で願いながら海外の研修生たちに稲作の指導をしていきます。(マルビン)



新研修生とスタッフでグラウンドに苗箱並べ

日本語の様子①

2022年度の研修生がついに入国しました。昨年度来日予定だった研修生は、1年以上待っての来日です。今回は、OB研修生をのぞく8名の研修生全員と事前面談を行い、必要な研修生はオンライン授業も行ってきました。日本語レベルをある程度把握したうえでの受け入れで、双方の負担が少なかったと思います。5名の研修生が4回に分けて入所し、レベル別のクラスがようやく開講できそうです。研修生に日本語で接して思ったことを入所順に綴ります。

レオニト(東ティモール)

国で日本人教師に日本語を習っていて、よく話せるほうです。口癖は「えっとね〜」「そおそおそお」

シティベニ(フィジー)

来日1週間で、カタカナが読めるようになりました。知っている日本語と、英語でだれとでも積極的に会話をします。

リズキ(インドネシア)

国の研修センターで日本語を習っていて、よく話せます。かるたとりにも、本気で挑む姿が可愛らしいです。

ティムール(ウズベキスタン) 国では、元中学校の英語教師でした。語学に堪能で日本語もよく話せます。カタカナが書けないことが判明し、目下練習中。

エレヘ(モンゴル) 日本語は、ひらがなカタカナがわかるレベルで、英語もあまりわかりません。その分、よく見てよく聞いてよく考えると思います。几帳面な性格を活かして、日本語の勉強もがんばるでしょう。

以上5名です。これから、来日する4名の研修生も合流し、彼らが共同生活の中でお互いに影響しあって、どんな成長を成し遂げるか、今からとても楽しみです。引き続き応援よろしくお願いします。がんばれ、研修生！(立石考子)



Bクラス



Aクラス



トヨタモビリティパーツ九州北部統括支社 新入社員研修

4月28日、トヨタモビリティパーツ九州北部統括支社の新入社員12名の新入社員研修(オイスカ活動と海外研修生との交流)を実施しました。内容としては、オイスカ活動の勉強会、海外研修生による各国の紹介、社員及び研修生により3か国の料理作り、農業体験と短い時間でしたが、研修生と交流頂き、会社として応援しているオイスカを体験していただきました。今後いろんなイベント、行事で再度交流できることを願っております。慣れない農業にも取り組んで頂き、ありがとうございました。(廣瀬)



料理交流



国の紹介



農業体験

OB 研修生紹介コーナー

今回紹介するOB研修生はインドネシアのヘルさんです。ヘルは2011年の研修生で、出身地はスマトラで父親が養鶏業(採卵)をしていたことから、センターでは養鶏に興味を持って研修に取り組んでいました。

ヘルは帰国後、父親と一緒に養鶏を行い、その養鶏の規模を更に拡大したいという強い思いを持っていました。ちょうどその頃、西日本研修センター独自でOB支援の補助事業を行っていたのですが、支援先を選考するにあたり、インドネシアのプロジェクトからの要望もあり、ヘルに対し20万円の支援金を送った事がありました。ヘルはその資金を大切に使い、養鶏の規模を更に増やして積極的に事業を展開していきました。

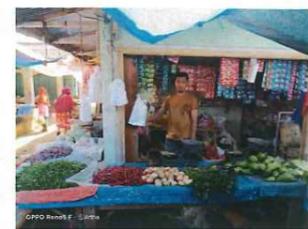
その後、何度か報告があがっていましたが、最近連絡が途絶えていたので、ヘルの養鶏の仕事はどうなっているのか気になって、メッセージを投げたところ彼から返事がきたのです。

<メッセージ内容>

私のニワトリは、数年前に病気にかかってしまい全部処分してしまいました。今はニワトリを飼っていません。ごめんなさい。今は市場に店を構えて、そこで卵や日用品などの販売をしています。もうすぐ断食が終わり、ハリラヤのお祭りがあるので、どこの家庭でもパーティをするため、私のお店は忙しく、家族はみんな元気です。また忙しい時期が終わってからレポートします。センターのスタッフの皆様宜しくお願いします。

以上、ヘルさんからのメッセージを紹介しました。

ヘルさんがまた養鶏を始める時期が来ればいいですね。



農場研修風景

4月に入りようやく今年度の研修生5名が入所しました。

現在は日本語の研修がメインとなっていますが、週2回程度は半日作業服に着替えて農業実習に出ています。

4月のオイスカ農場では、野菜の定植作業やお米の苗づくりで大忙しで、研修生が作業に加わってくれることで大変助かりますし、何よりも研修生に農業を指導するために私たちスタッフがいることを改めて実感しています。

作業をする中で、携帯で写真を撮りながら作物の生育を記録に残していく研修生の姿を見ると、オイスカ魂に火がついて「これから気合を入れて研修をしていくぞ」と思いを新たにしています。だけど恐らく研修生たちは「先生そんなに気合を入れずにほごほごにしてください」と私に言うのでしょうか。

まあ、とにかくオイスカの研修農場は、久々に研修生が来たことで華やいているのです。(豊田)



タケノコ掘り



苗並べ



オクラの播種